

「視聴者から嬉しい報告

「西田先生！ついに教授が MMT を理解してくれました！」
なぜ教授は人の話を聞かなくなるのか」

令和3年11月4日

●きたみやさんからの質問

去年の夏頃に、「教授が MMT を理解しようとしてくれませんか！」とご相談させていただいた、きたみやです。毎週の動画更新のほど、ありがとうございます。実は去年から進展があり、その教授が「確かに、現役世代が貧困化すると、将来世代も貧困化してしまうね」「政府が今支援しないと、立ち直れるはずがないね」と賛同してくれました！厚かましい限りではございますが、皆さまへのご報告も含め、「今週のおまけ」で取り上げてくださると、この上なく幸いです。長くなりましたが、本当にありがとうございました。

●西田昌司の答え

（本をたくさん読んで勉強を重ねてきた）教授が教え子から間違いを指摘されたら、たとえその指摘が正しかろうともそう簡単には受け入れられるはずもありません。間違いを認めたら人生を否定されたのと同様の屈辱でしょうし、ですから普通の人よりも聞く耳を持たない人物が多いのでしょうか。

きたみやさんの教授は、「今の世代が国債を発行すると、次の世代がその借金を税金で返さなくてはならなくなって迷惑をかけてしまう。だから、国債をそう簡単には発行すべきではない」との考えの持ち主なのだと思えますが、その過ちに気付いてしかも教え子に自らの過ちを認めるとは、大変に見上げた教授だと思います。

かくいう私も、中野剛志さんから MMT について最初に聞かされた時は

珍説としか思えませんでした。しかし、中野さんの本を繰り返し読んで考えているうちに MMT が述べる事実にはたと気付いたのです。最初のうちは、自分の頭の中にある知識と整合しなくて頭に入ってこなくとも、日本語の理解力さえあれば何れはすんなりと入ってくるのです。

大学教授のような高学歴の人ほど日本語の理解力が低下するという事実がありますし、長年政治家を務める私がつくづく感じるのは「日本語を理解できる日本人が意外と少ない」ということです。その障害となるのが（悪い意味での）プライドなのでしょう。

きたみやさんは大変に素晴らしい教授と出会えたのですから、その幸運を逃すことなくいろいろと話をしてみてください。きっと一生の宝物になると思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright : 週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>